

仲髓に触れる

ふさんから学ぶ

行われ、3年
城端蒔絵16代目
は衛門さん(47)

小原さん(左)から、進化を重ねてきた城端蒔絵について学ぶ吉江中生徒—城端曳山会館

の講演などを通じ、伝統文化の神髄に触れた。

地元で活躍する人との交流を通じ、地域との関わりや自分らしい生き方について考えてもらうのが、城端曳山会館で行われる小原さんは、へ材にした作品が国内にされなかったものの、が異なる米国で注目、経緯を述べながら、らの作風をただ守るなく、時代を先取り品を追求することのを訴えた。

7/10 北日本新聞

生徒らは、進化を重ねながら受け継がれてきた伝統技法の奥深さを感じ取った様子だった。

小原さんは城端小・中学校の「城端学」などの講座

で講師を務めてきたが、吉江中がある福光を含む他地域の子どもに語るのは初めて。「南砺の多彩な文化の魅力が広く伝わるきっかけになれば」と願っていた。

変化する模様「きれい」

片口小児童 海藻で万華鏡作り



海藻を使った万華鏡作りを楽しむ児童ら
—射水市片口小学校

射水

海藻で万華鏡を作る教室が9日、射水市片口高場の片口小学校で開かれた。3年生16人が制作を楽しみながら海藻の生態系に果たす役割を学んだ。

海環境を守る大切さを知ってもらおうと、射水市

輪になって踊る児童や実行委員会のメンバーら—南砺市福野小学校



元気に「よい

さ」と
3年生
00人が
た。
体験会
総合学習
協力した
場に盆踊
る。応募
う。北日

福野小児童

全に役立っていると説明を受けた後、好きな海藻を選んで万華鏡を組み立てた。万華鏡ののぞき、変化す幾何学模様を見て「きれい」と声を上げていた。

イモの泥落とし 出荷作業に協力

福祉施設利用者

小矢部

小矢部市日谷岡城の福祉施設「はちようどんぼ」の利用者

人は9日、同施設で、地の北蟹谷地域活性化協議が栽培・収穫したジャガモの出荷作業を手伝った同協議会の農福連携事業一環で、昨年からの協力している。

利用者は軍手やタオル

海藻で万華鏡作り 海の環境保全学ぶ

射水・片口小

射水市豊かな海を愛する会と富山湾を愛する会の「海藻万華鏡教室」は9日、射水市片口小で開かれ、3年生16人が海藻を使った万華鏡を作り、海藻の役割や海の環境保全の大切さを学んだ。



海藻を使った万華鏡作りを楽しむ児童
—射水市片口小

交流を深める参加者
—高岡市末広町



場所であると説明した。海藻がなくなると、多くの生き物のすみかが奪われると強調した。

児童は緑のアオノリ、赤のトサカノリ、茶のアカモクなど約20種類の海藻でオリジナルの万華鏡を仕上げ、友人とのぞき合って楽しんだ。森優里香さんは「海にゴミを捨てないようにしたい」と話した。

市長選を想定 模擬投票体験

岡一高で出前講座

選挙管理委員会の

組をや約高選
7/10 富山新聞

出前講座は9日、で開かれ、3年生人が本物の記載台を使った模擬投票、選挙の意義や仕んだ。



模擬投票を体験